

発売:  avex club

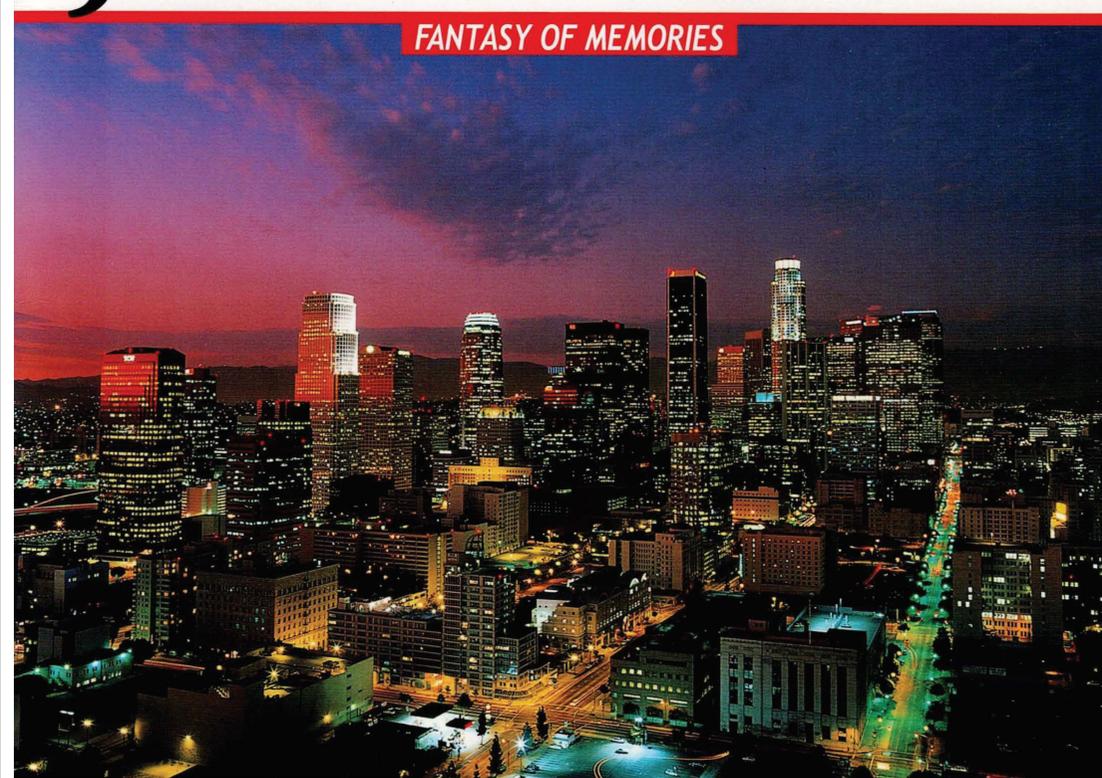
制作: ユニバーサル ミュージック株式会社

JAL



# JET STREAM

FANTASY OF MEMORIES



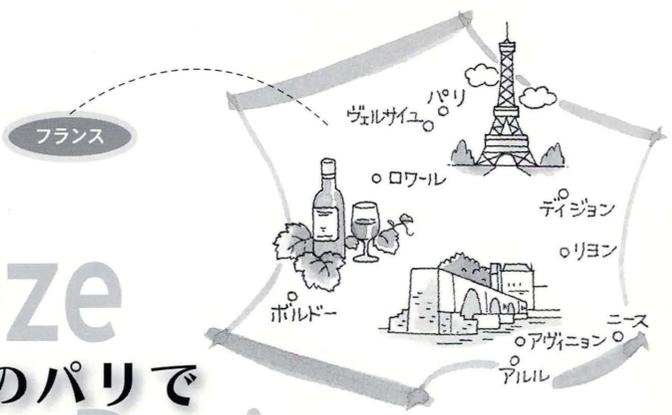
# JET STREAM

FANTASY OF MEMORIES

- 1 そよ風のバリで Breeze in Paris.....2  
フランス編
- 2 海辺のセレナーデ Seaside Serenade.....4  
イタリア編
- 3 山と湖からの便り Greetings from Mountains.....6  
スイス/オーストリア編
- 4 アルハンブラ瞑想 Meditation in Alhambra.....8  
スペイン/ポルトガル/アルゼンチン編
- 5 思い出の街角 Streets in My Memories.....10  
ドイツ/オランダ/ベルギー編
- 6 伝説の旅人 Wanderers for Legend.....14  
イギリス/北欧編
- 7 エーゲ海のバラード Aegean Ballad.....16  
ギリシャ/トルコ編
- 8 思い出に、アローハ！ Aloha! My Souvenir.....18  
ハワイ/南太平洋編
- 9 恋する南十字星 Southern Cross.....20  
オーストラリア/ニュージーランド編
- 10 新大陸紀行 The New World.....22  
アメリカ/カナダ編

JAL

# Breeze そよ風のパリで in Paris



## 曲目解説

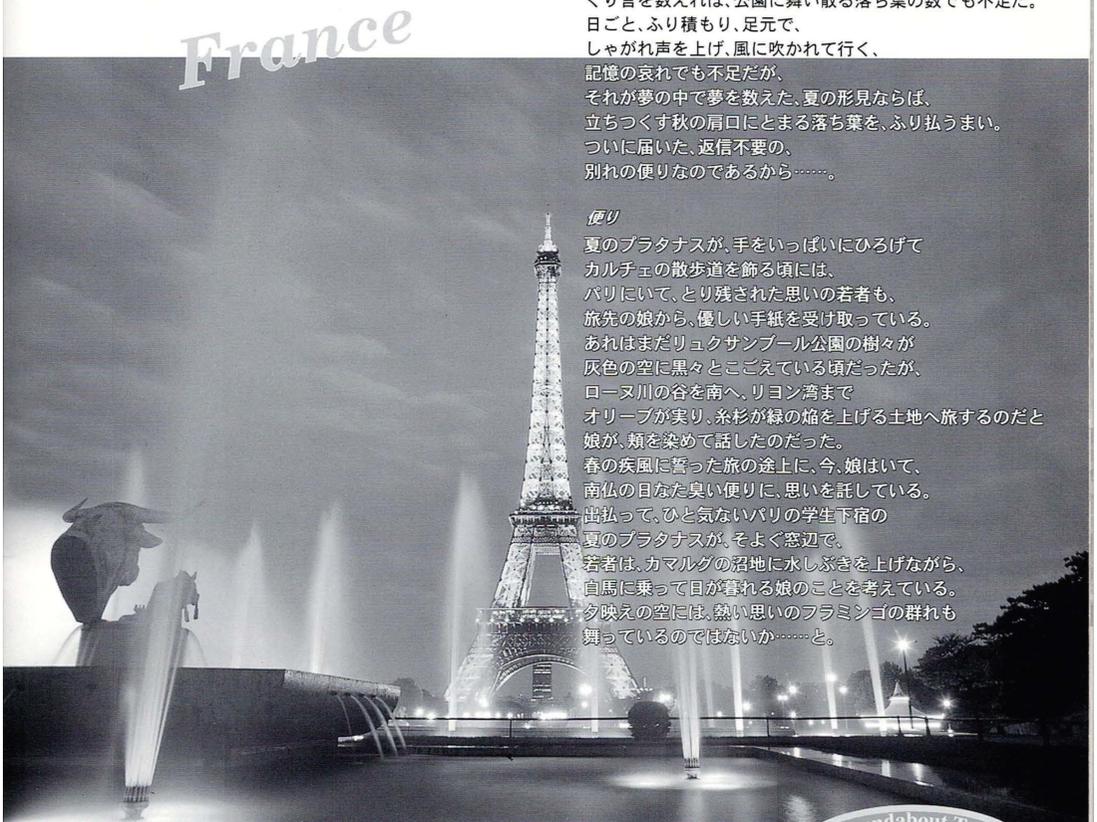
### 1

オープニングは、「ジェットストリーム」のトレードマークの**1**「ミスター・ロンリー」。城達也の忘れられない名調子で始まります。1964年にボビー・ヴィントンが歌い、全米No.1 ヒットになったオールディーズ・ナンバーです。続いて**2**「恋はみずいろ」。1967年にヴィッキーが歌いましたが、翌年ポール・モーリアがアレンジしたこの演奏が大ヒット。フレンチ・ポップスの原点です。**3**「パリのお嬢さん」は1948年の映画『パリの醜聞(スキャンダル)』(監督ロジェ・ブラン)の主題歌。ジャクリヌ・フランソワのテーマ曲になりましたね。**4**ナレーション「秋」を受けて、シャンソンの超有名曲**5**「枯葉」。1946年の映画『夜の門』(監督マルセル・カルネ)で当時新人のイヴ・モンタンが初めて歌いました。**6**「セ・シ・ボン」もモンタンの歌でヒットしました。1953年のアーサー・キットの惱ましい歌声を覚えていませんか？ **7**「ラ・メール」は1938年にフランスのシャルル・トレネが自作自唱して世界に知られ、アメリカでは60年、ボビー・ダーリンが「海の彼方」としてヒットさせました。**8**「ムーラン・ルージュ」は、フランスの画家ロートレックの生涯を描いた1952年の映画『赤い風車』(監督ジョン・ヒューストン)の主題曲で、多くの映画音楽を書いたクラシックの作曲家ジョルジュ・オーリックが作りました。

**9**「青春の嵐」は、「新世界交響曲」で知られるチェコの作曲家アントニン・ドヴォルザークが1893年に作曲した弦楽四重奏曲「アメリカ」の第2楽章をディスコ風にアレ

ンジしたものです。城達也のナレーションが入ります。**10**「マリアの歌」ではピアノとストリングスで甘いムードを楽しんでいただけます。**11**「ばら色の人生」は1944年にエディット・ピアフの絶唱で知られるようになったシャンソン。まだ無名のイヴ・モンタンへの恋心を表したといわれます。ピアフの半生を描いた1974年の映画『愛の讃歌』(監督ギー・カザリル)でも、印象的に使われていました。マントヴァーニ・オーケストラの十八番**12**「シャルメーヌ」はムード音楽のスタンダード曲となりましたが、1926年のサイレント映画『栄光』(監督ラオール・ウォルシュ)の伴奏曲とPR曲として使われ、大ヒットしたものです。

1966年にサルヴァトーレ・アダモの自作自唱でヒットした異色のシャンソンは**13**「インシャラー」。中東戦争直前のイスラエルの印象と平和への祈りとが込められました。**14**ナレーション「便り」に続いて、日本でもよく知られているフランス民謡**15**「アヴィニヨンの橋」で。この橋は、フランス南東部プロヴァンスの町アヴィニヨンのサン・ベネゼ橋のこと。**16**「マイ・ウェイ」は実はフランスのシャンソンがアメリカに渡ったもので、英語の歌詞を書いたのは歌手のポール・アンカ。フランク・シナトラが歌ってヒットさせたのは1969年のことでした。城達也のナレーションとともに「ジェットストリーム」の最後に余韻を残すのは**17**「夢幻飛行」です。「ジェットストリーム」の放送5000回記念(=TOKYO FM 開局15周年記念)の折に、番組のエンドテーマとして登場しました。



\*掲載の詩は、ビデオ(DVD)に収録のナレーションと一部異なる場合があります。

## Roundabout Trip 旅の回り道

### 19世紀へのタイムトンネル

パリの天気は気まぐれだ。思いがけない雨の日はバサージュをぶらつくにかぎる。バサージュ(「通り道」の意味)とは、アーケードの商店街のこと。パリが王侯貴族の街から市民の街に変わる19世紀、産業革命で量産された鉄やガラスを使って建てられた。ここは気のきいた買い物ができるのももちろんだが、実は文豪バルザック、フローベールやボードレールの時代に飛べるタイムトンネルなのだ。女性に目のないバルザックは、こうした当時のトレンドィスポットで贈物を物色したに違いないし、カフェでは作家た

ちが夜ごと集った。当時50以上あったバサージュも、現在は20足らずだが、それぞれ個性をもっている。なかでもバレ・ロワイヤル近くの「ギャルリ・ヴェロドダ」(1829年に作られた)がおすすめ。一歩中に踏み込むと、時間が止まってしまう。当時のパリのガイドは「イルミネーションが鏡に反射し、まるで妖精の国に行った気分だ」と称賛している。市松模様の床に黒光りするシックな木組みのポーチ、闇が生きる間接照明、アンティークの人形や古楽器、古版画、古書など、売物まで19世紀からほとんど変わら

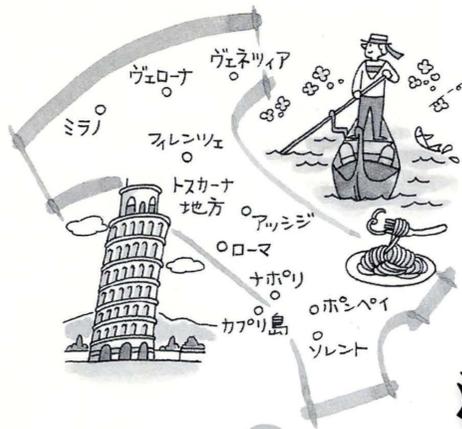
ない店ばかり。とくに、アンティーク人形専門店ロベール・カピアはカトリーヌ・ド・ヌーヴのお気に入り。ときどき売り子のふりをして客を驚かすらしい。いちばん豪華なのは、同じバレ・ロワイヤル裏手の「ギャルリ・ヴィヴィエヌヌ」。昔ながらの古本屋やワイン屋のほかに、ゴルティエをはじめとするデザイナーブランドのブティックやサロン・ド・テ(喫茶店)などが進出し、レトロ・モダンな雰囲気を楽しめる。ほかにモンマルトル大通りをはさんだ2つのバサージュ「デ・パノラマ」や「ジュフロウ」も見逃せない。

### 秋

枯れ果てるものは、木の葉だけでなく……。散るものも又、木の葉だけでなく……。空をふり仰いだ青春の顔や、砂浜に落ちたバラソルの影が、色褪せて行くのも又、同じ秋だという。夏よ。年ごとの我が片思い。くり言を数えれば、公園に舞い散る落ち葉の数でも不足だ。日ごと、ふり積もり、足元で、しゃがれ声を上げ、風に吹かれて行く、記憶の衰れでも不足だが、それが夢の中で夢を数えた、夏の形見ならば、立ちつくす秋の肩口にとまる落ち葉を、ふり払うまい。ついに届いた。返信不要の、別れの便りなのであるから……。

### 便り

夏のプラタナスが、手をいっぱいひるげてカルチェの散歩道を飾る頃には、パリにいて、とり残された思いの若者も、旅先の娘から、優しい手紙を受け取っている。あれはまだリュクサンブール公園の樹々が灰色の空に黒々とこごえている頃だったが、ローヌ川の谷を南へ、リヨン湾までオリブが実り、糸杉が緑の焔を上げる土地へ旅するのだと娘が、頬を染めて話したのだった。春の疾風に誓った旅の途上に、今、娘はいて、南仏の目立たない便りに、思いを託している。出払って、ひと気ないパリの学生下宿の夏のプラタナスが、そよ風窓辺で、若者は、カマルグの沼地に水しぶきを上げながら、白馬に乗って目が暮れる娘のことを考えている。夕映えの空には、熱い思いのフラミンゴの群れも舞っているのではないかと……。



イタリア

# Seaside 海辺のセレナーデ Serenade

曲目解説

2

1 「ミスター・ロンリー」(2ページの解説をごらんください)に続く2 「死ぬほど愛して」は、1959年の映画『刑事』(監督、主演ピエトロ・ジェルミ、共演クラウディア・カルディナーレ)の主題歌で、映画よりも大ヒットしました。3 「オー・ソレ・ミオ」は1898年にカプアが作って大ヒットしたカンツォーネですが、古くからナポリ民謡として知られています。4 「ブルー・ムーン」は1934年にロレンツ・ハート(詞)とリチャード・ロジャース(曲)が作り、現在ではスタンダード曲としてムード音楽やジャズなどのジャンルで大人気になっています。5 ナレーション「旅の記憶」に続いて、世界的に知られたナポリ民謡6 「サンタ・ルチア」。1853年頃にテオドロ・コットローが作曲しました。ナポリの守護神であるサンタ・ルチアを歌った明るい曲です。そのナポリの湾の入り口にある小さな島カプリ島を舞台にした曲を2曲。7 「カプリ島」は1934年にイギリスのジミー・ケネディ(詞)とウィル・グロス(曲)が作り、アメリカでも大ヒットしたコンチネンタル・タンゴの名曲。カプリ島で出会った女性に失恋してしまう歌です。次の8 「カプリの恋の物語」は、前曲と同じくカプリ島での失恋を歌った曲で、シャンソン歌手エルヴェ・ヴィラールが作曲し、1965年に自身が歌ってヒットさせました。9 「カトリ・カトリ」はリカルド・コルティヴェルロ(詞)とサルヴァトーレ・カルディッロ(曲)が1910年に作り、名歌手エンリコ・カルーソがニューヨークのカーネ

ギー・ホールで披露して以来、最もポピュラーなナポリ民謡となりました。10 「口笛の鳴る丘」は原曲はカンツォーネですが、1967年にディスク・フェスティヴァルに受賞した名曲です。一方1965年のサン・レモ音楽祭で受賞した曲は11 「この胸のときめきを」。そのとき歌ったピノ・ドナッジョが作曲し、ヴィト・パラヴィチーニが作詞したもので、70年にエルヴィス・プレスリーでリバイバル・ヒットしました。12 「時は過ぎ行く」は、ドイツの作曲家ヨハネス・ブラームスが、ジブシーの民謡をもとにして1852~80年に作曲した「ハンガリー舞曲」の第4番をアレンジした曲です。1947年の映画『愛の調べ』(監督クラレンス・ブラウン、主演キャサリン・ヘップバーン)の主題歌となって、一躍有名になりました。「青春の嵐」と同様、城達也のナレーションが入ります。13 「マルタ島の砂」は作曲家ベルト・ケンプフェルトによる演奏です。ハーブ・アルパート&ティファナ・プラスでもヒットしました。続いて1967年にカーソン・C.パークスが作詞作曲した14 「恋のひとつ」。フランク・シナトラと娘のナンシー・シナトラのデュエットがヒット・チャート第1位を4週間保持しました。最後は1953年にアメリカのハーブ奏者ロバート・マックスウェルが作曲した15 「ひき潮」。ここでは、大ヒットした効果音入りのフランク・チャックスフィールドの演奏が聴けます。16 「夢幻飛行」は2ページの解説をごらんください。

Italy



## 旅の記憶

旅で出会った人々の、爽やかな記憶がある。ローマの観光バスに、3度までいっしょに乗り合わせ、「これからアフリカへ行くのだ」と話していたインド人一家は、すでに、風になびく草原の匂いを漂わせていた。マドリードのホテルでいっしょになった、アメリカ人の老夫妻は、夫人だけが喋り手で、老人の口元には、微笑と葉巻が絶えなかった。グラナダへ旅立つ彼らと、夜の駅頭で別れたとき、わずかに「グッド・バイ」と言ったのが、老人の最初で最後の言葉だった。どの別れでも「また会いましょう」とは言わなかったが、お互いに、その人が、長い将来にわたって、記憶の中に住み続けることを知っていた。旅という場の中で、純粋に培養された友情を、あなたも、初夏の日差しとともに思い出すことがあるでしょうが……。

## Roundabout Trip 旅の回り道

### 水の都 ヴェネツィアの 洪水

「水の都」と呼ばれる都市は世界中にたくさんあるが、ヴェネツィアは別格だ。水上の浮島、いってみれば水の中に街がある。運河の水は兩岸の建物の壁を洗い、波が戸口にひたひたと寄せる。ここでは常に床下(?)浸水状態なのだ。そのヴェネツィアが冬季には高潮のため水をかぶってしまう。「アクア・アルタ」と呼ばれる高潮は、大潮や気圧の変化、南風シロッコ、それに地盤沈下も加わって起こる。1966年11月にはサン・マルコ広場が1メートル以上水をかぶったことがあった。1900~80年の間にヴェネツィアの地盤は23センチも沈んだが、そのうち3センチは建物の重み、9センチは世界的な海面の上昇、11センチは工業用地下水の汲み上げが原因といわれる。地下水の汲み上げを禁止してから、大規模な沈下

現象も収まり、いまやアクア・アルタは冬の風物詩ともいえよう。この季節、サン・マルコ広場やその周辺では、細長い作業台をいくつも重ねているのを目にするが、これは通りや広場が水没して歩けなくなったとき、臨時の歩道として使われるものだ。地盤が最も低いサン・マルコ広場では、雨が降ってもいけないのに水たまりができ、おかしいなと思っていると、石畳のあいだからじわじわと水が染み出して、あっというまに広場が水没してしまう。

しかしこの洪水も3時間もたてば引いてしまうのでご安心を。それより、こんな光景に出会えたらもうけものだ。水上都市ヴェネツィアの想い出は決して忘れることがないだろう。



# Greetings 山と湖からの便り from Mountains

曲目解説

3

■「ミスター・ロンリー」（2ページの解説をごらんください）に続いて、■「白い恋人たち」は1968年にグルノーブルで行われた冬季オリンピックの公式記録映画（監督クロード・ルルーシュ）のテーマ曲で、ルルーシュとの名コンビで知られたフランシス・レイが作曲して大ヒットしました。ポール・モーリアの初期の代表的名曲のひとつが■「薔いノクタン」です。1966年に自作自演しましたが、モーリアがいつも意識している「ショパン」と「チェンバロ」がキーワードになっています。次はクラシックの名曲から■「白鳥」。フランスの作曲家カミーユ・サン＝サーンスが1886年に作曲した管弦楽組曲「動物の謝肉祭」の第13曲です。組曲中最もポピュラーな曲で、チェロ独奏の重要なレパートリーとなっているほか、バレエでも定番となって踊られています。

スイスとイタリアの国境の近くに細長くのびる湖、コモ湖は観光地として有名ですが、その名をズバリ曲名にしたナンバーが■「コモ湖」。スイスのムード・オーケストラ、スウィート・ピープルが演奏します。■ナレーション「スイス」に続いては、■「あらの野のはてに」。ポール・モーリアが「いや高き栄光」という題名の古い聖歌をアレンジした美しい曲です。同じくモーリアの演奏で■「三人の天使」。フランスのクリスマス・ソングです。見事な香炉と、ばらの花飾りのついた帽子と、真珠・金・ジャスミンの花をあしらったステキなドレスを持ってきてくれた3人の天使たちを歌っています。■「白銀は招くよ」は、1956年の冬季オリンピックで、アルペン種目3つの金メダルを獲得

したオーストリアのスキー選手トニー・ザイラーが主演した同名の映画の主題歌です。フランツ・グロエテが作曲しました。■「青春の嵐」は2ページの解説をごらんください。

ふたたびクラシックから■「別れの曲」。ポーランドの作曲家フレデリック・ショパンが、1829～32年に作曲した「12の練習曲」作品10番の第3曲ホ長調が原曲です。その美しくはかない曲調は多くの人に愛されており、ショパンの生涯を描いた1934年の映画（監督ゲーザ・フォン・ポルファリ他）の邦題も『別れの曲』でした。■「フィーリング」は、1974年にブラジルのシンガー＝ソング・ライター、モーリス・アルパートが自作自唱した世界的なヒット曲です。日本ではハイ・ファイ・セットの“歌謡曲版”が77年に大ヒットしましたね。次はオーストリアを舞台にした1965年のミュージカル映画『サウンド・オブ・ミュージック』から、そのラスト・シーンに流れた■「エーデルワイス」。エーデルワイスは「西洋ウスユキソウ」と訳されますが、白く美しいアルプスの名花で、キク科の高山植物です。■「想い出のキャンパス」はジェームス・ラストのオリジナル作品で、1979年に作曲されました。「ペインティングズ」（絵画）という原題が示すように、人生をキャンパスに例えた曲なのでしょう。心にしみる1曲です。オーストリア民謡の■「姉妹」は、日本では「わすれな草」としても知られている曲。アルフレッド・ハウゼ楽団の魅力的なストリングスをお楽しみください。■「夢幻飛行」は2ページの解説をごらんください。

スイス

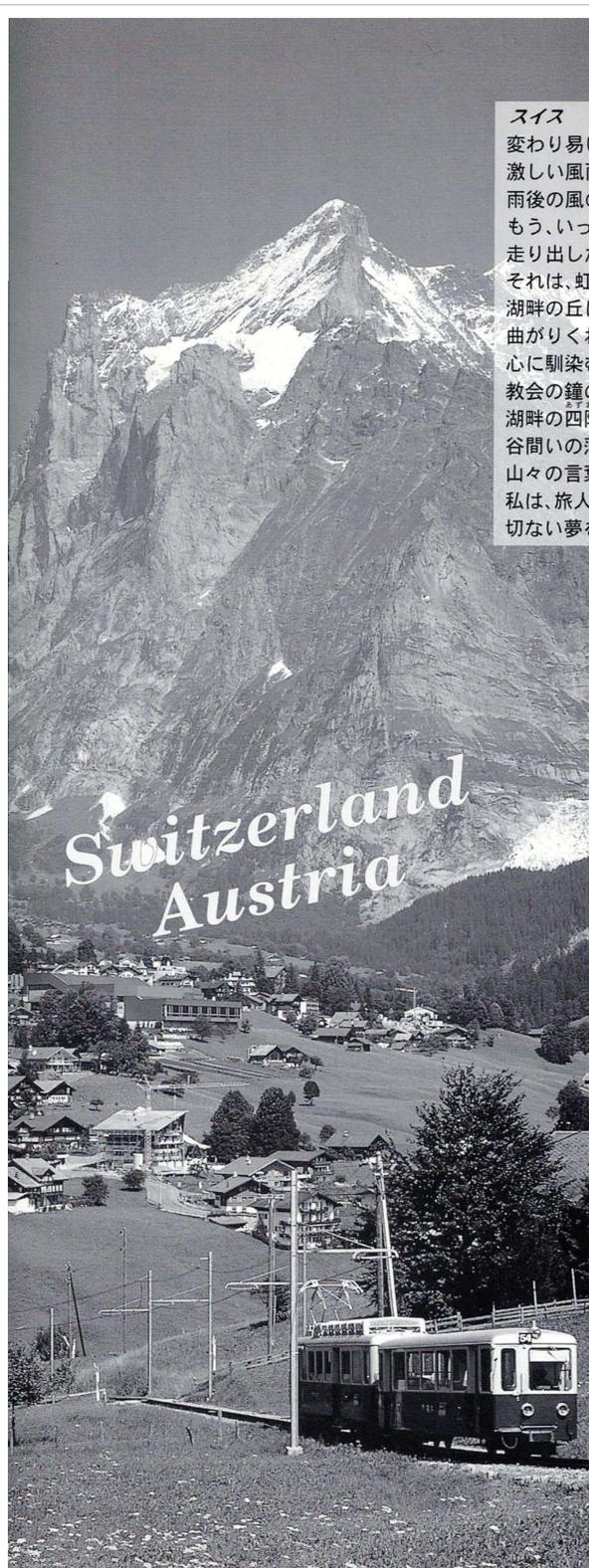
変わり易い山の気象が突如、激しい風雨をもたらすような土地でしたが、雨後の風の爽やかなことといたら、もう、いっせいに湖に帆を張って、走り出したくなるような町でした。それは、虹に飾られた、スイスの、と或る町のことだ。湖畔の丘に、錆色の雲を積み重ねた、古い町並みがあって、曲がりくねった石畳の坂道に沿ってくすんだ建物の肌が心に馴染む滞在であったに違いない。教会の鐘の音を聞きながら、散歩に出て湖畔の四阿で、うつらうつらと時を過ごす間には、谷間の落ち葉が、湖の底に辿りつくように山々の言葉が、心の底に届きそうに思えたのではないか。私は、旅人達の土産話を聞くたびに切ない夢を見ているような気がするのだ。

Roundabout Trip  
旅の回り道

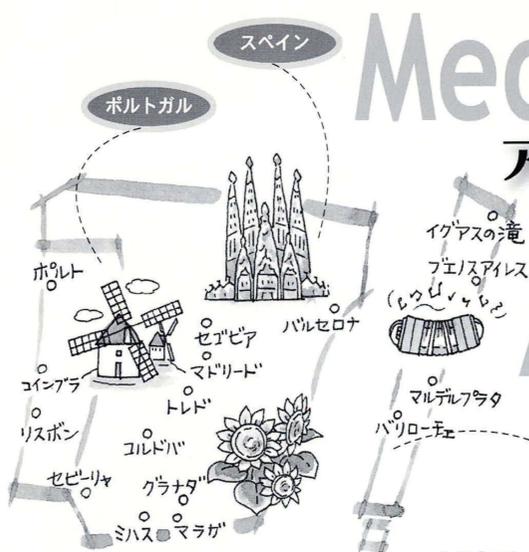
## 旧くて新しいウィーン

曇り空が続いてときおり雪の舞う1～2月のウィーンは、それを振り払うように華やかな舞踏会とカーニバルのシーズンでもある。この季節、ウィーンの街角では仮装した人々をよく見かけるが、実は一夜だけ華やかな社交界の一員になる！といった夢のような体験もできる。ヨーロッパで最も格式の高い舞踏会は、2月にオペラ座で開催される「オーバン・バル」（オペラ座舞踏会）だ。映画『会議は踊る』でも知られるウィーン会議が終わって間もない1817年以来、ハプスブルク家に欠かせない行事としての伝統を受け継ぎ、現在でも国の正式な舞踏会として国内外から豪華なゲストを招聘し、ヨーロッパ中にテレビ中継もされる。舞踏会の主役は社交界にデビューする17～24歳の上流階級の男女180組。その「デビュータント」たちの優雅、華麗なワルツやポルカは、在りし日のハプスブルク帝国の舞踏会を彷彿とさせるが、これが終わると、一般の人々もダンスを楽しむことができる。チケットはオペラ座に直接申し込み（2900～20万シリング＝約2万3000～160万円）。

古きよきウィーンの方で、新しいウィーンも見逃せない。さまざまなハイテク装置や楽器に「触れて、見て、聞いて」音楽を知ろうという、体感型ミュージアム「ハウス・デア・ムジック」（音楽の家）が、2000年にオペラ座近くに完成した。パイプオルガンの模型や巨大に作られた太鼓や木琴などを鳴らして楽器の構造を実体験でき、また世界12都市の雑音をクラシック音楽と合成してオリジナルCD（お土産OK）を作る「エヴォリューション・マシン」も画期的。人気なのは、大画面のウィーン・フィルを指揮してしまう「ヴァーチャル・コンダクター」。ヘタな指揮だと曲の途中でゲーム・オーバーとなるのがコワイ。



# Meditation in Alhambra



## 曲目解説

### 4

①「ミスター・ロンリー」（2ページの解説をどうぞ）に始まり、まずはスペインの作曲家パブロ・デ・サラサーテが1878年に作曲した代表作②「チゴインエルワイゼン」。ジブシーのメロディーを使ったクラシックの名曲を、弦楽中心にアレンジしたもので、ゆったりとしたテンポによる憂愁にみちたジブシー特有の音楽がたっぷり楽しめます。続く③「はるかな幸せ」は、パラグアイの歌。エミグディオ・バエスが作曲しました。ラテン音楽の中でも名曲とされている曲です。スペイン東部の地中海に面した風光明媚な土地として知られるヴァレンシア。この町をたたえた曲④「ヴァレンシア」は、1925年にスペインのホセ・パディーリャ・サンチェスが、バリのレビュー用として作曲。日本では宝塚歌劇の舞台上で歌われて流行しました。⑤ナレーション「アルハンブラ」に続いて、スペインの古都グラナダへの思いを込めて作られたのが、⑥「グラナダ」です。メキシコのアグスティン・ララが1932年に作曲したもので、ラテン音楽を代表する名曲のひとつです。

日本では「淋しさを忘れて」という題名でも知られている⑦「ノウ・アイ・ノウ」は、1967年にジェームス・ラストが作りました。ジェイ・ゲルバーとスコット・イングリッシュの英詞でジャック・ジョーンズが歌いましたが、ここでは自作自演が楽しめます。⑧ナレーション「セレナーデ」をはさんで、次は⑨「ポルトガルの四月」。1947年にポルトガルのジョゼ・ガリャルド（詞）とラウル・フェロン（曲）が作った「コインブラ」という曲に、イギリスの

ジミー・ケネディが6年後に英詞を付けたものです。⑩「リン・リン」はスペインのクリスマス・ソング。ロバが引くチョコレート積んだ車がベツレヘムへ行く、といった内容の歌ですが、「リン・リン」という合いの手が入ります。1963年にビート・シーガーが歌ってから世に知られた⑪「グアンタナメラ」は、もともとキューバの歌で、ホセイト・フェルナンデスが作りました。題名はキューバ東部の町グアンタナモからきています。

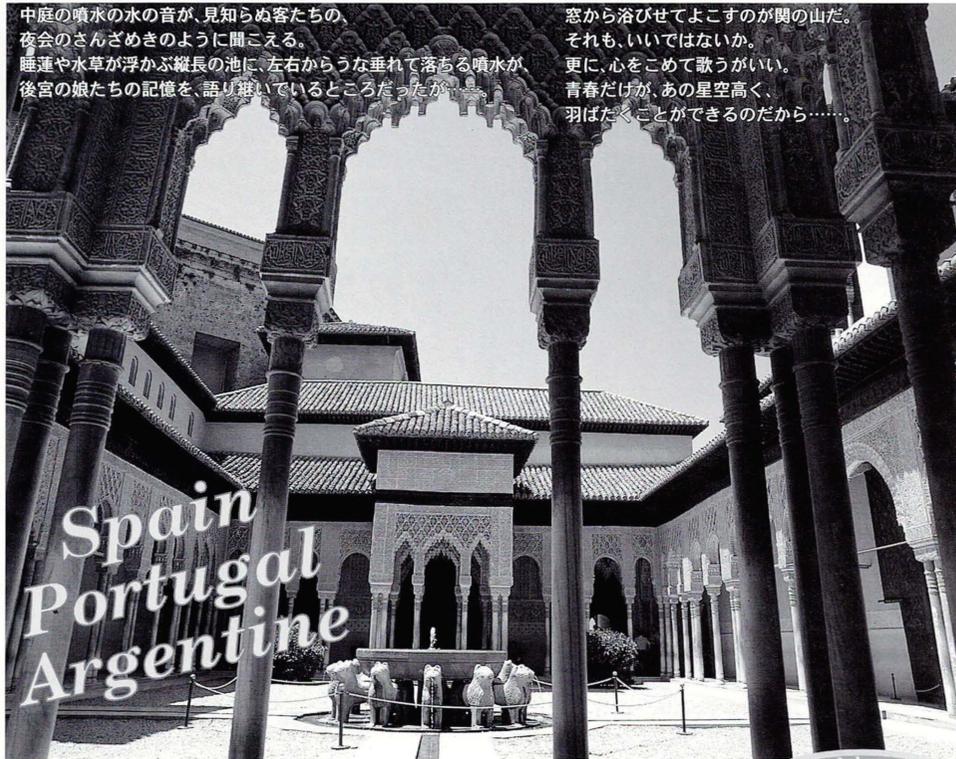
“ミラベル”とは甘い小梅のことをいうそうですが、かわいい女性を“ミラベラ”とってたたえた曲が、⑫「情熱のミラベラ」です。⑬「時は過ぎ行く」（4ページの解説をどうぞ）をはさんで、コンチネタル・タンゴの代表曲⑭「碧空」です。ドイツのヨーゼフ・リクスナーが作曲し、日本に入ってきたのは1937年頃。オールド・ファンにはバルナバス・フォン・ゲッツィのヴァイオリン演奏にじびれた方も大勢いらっしゃるでしょう。続いてやはりコンチネタル・タンゴとしても親しまれている名曲⑮「淡き光」は、アルゼンチンのヴァイオリニスト、エドガルド・ドナートが1925年に音楽劇「ス・マヘスタ」のために作曲したタンゴです。⑯「マリア・ラ・オ」は、ハバナを舞台に同名の美しい混血娘の悲恋を描いた2幕のサルセラ（ラテン系の民族的なオペラ）の主題曲。キューバのエルネスト・レクオーナが作曲し、ルンバにもアレンジされて流行しました。⑰「夢幻飛行」は2ページの解説をどうぞ。

## アルハンブラ

グラナダの夏の夜空に半月が冴え渡る頃、アルハンブラの宮殿の奥のバラ園の扉が、そっと開かれている。ヘネラリッフェと呼ばれる離宮の中で、繰り広げられる、今は昔の夢のお伽に、心ある人を招こうというのだ。鉄門に続く糸杉の並木は、砂利道に沿って、点々と置かれた足元の明かりの上に、巨人の影のように並んで、まことに、夢の通り路と呼ぶにふさわしい。夜風に薫る花のドームを上げて、離宮の戸口に差し掛かると、中庭の噴水の水の音が、見知らぬ客たちの、夜会のさんざめきのように聞こえる。睡蓮や水草が浮かぶ縦長の池に、左右からうな垂れて落ちる噴水が、後宮の娘たちの記憶を、語り避けているところだったが……

## セレナーデ

スペインの恋歌が聞こえる。バルコンを見上げる若者に、恋人の寝所の明かりは、夜空の星よりも遠い。ピロードのマントに、五色のリボンをひらひらさせ、友に守られた青春の顔が、夜目にも白い。年を経た石壁の、沈黙の向こうから、直ちに、色よい返事があるはずもなく、頑固親父が、冷や水代わりに手近のワインを窓から浴びせてよこすのが関の山だ。それも、いいではないか。更には、心をこめて歌うがいい。青春だけが、あの星空高く、羽ばたくことができるのだから……



## Roundabout Trip 旅の回り道

### 知ってるつもり闘牛

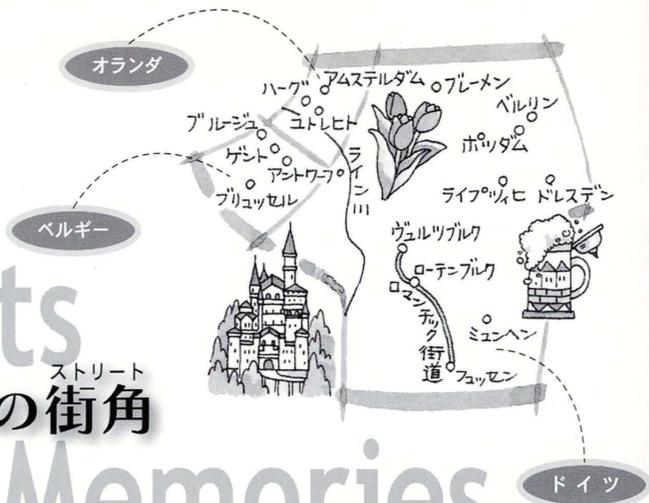
圧倒的な迫力で見るとりこにする「闘牛」は、スペインの大きな魅力のひとつだ。記録に残る最古の闘牛は、1080年にアビラの貴族の婚礼祝いに催されたもので、はじめは貴族の遊びだったが、やがて民衆の祭りとなった。900年を超える歴史をもつため、闘牛の形式や作法、服装などにも奥深いものがある。闘牛用の牛は4.5歳の元気のよい牡牛で、500キロ前後の野生に近いものがよい。さて闘牛士のほうは、性別・年齢・国籍すべて不問。スペイン各地に闘牛学校があり、だれでもなれるわけだが、正闘牛士（マタドール）

の資格を得るのは1万人に1人(!)という厳しさだ(1996年ヨーロッパ初の女性マタドールも誕生したが、なぜか3年後に引退)。闘牛士の衣装はショーを華やかで優雅に演出するが、マタドールの美しい正装「光の装束」は、金の刺繍を施した三つ揃えだ。赤いフランネルの布「ムレタ」を操るマタドールと牛とのからみをより官能的に演出する。マタドールは制限時間10分で自分が刺されるか、相手を刺すかの「真実の瞬間」に突入り、かけ声とともにどめの一撃となる。仕留められた牛はロバに引

かれて退場するが、実は直ちに解体されて食用肉になる。肉は縁起物の「闘牛肉」として店頭に並び、味が深くて焼肉や煮込み料理がおいしい。牛を刺したマタドールには牛の耳が与えられる。耳1枚で「敢闘賞」、2枚なら「技能賞」、2枚に尻尾が付くと「殊勲賞」、そのうえファンの肩車で門を出れば「最高殊勲賞」である。さて、スター・マタドールのギャラは？ 1回の出場で500~1000万円。1シーズンで50~100回こなす。現役中に闘牛牧場を買い、45歳までに引退して企業主になるケースが多いという。

# Streets in My Memories

ストリート  
想い出の街角



曲目解説

5

❶「ミスター・ロンリー」（2ページの解説をごらんください）に続くは、❷「忘れな草」。「帰れソレントへ」の作曲者として有名なデ・クルティスが作りましたが、名歌手フェルッチョ・タリアヴィーニが主演した1959年の映画『忘れな草』（監督アルトゥール・マリア・ラーベナルト）の主題歌に使われて一躍有名となりました。❸「ダンケ・シェーン」は、1962年にベルト・ケンプフェルトが自作自演したヒット曲です。ミルト・ギャブラーの英詞でウェイン・ニュートンが歌ったものが全米チャート13位になりました。1959年にドイツのクラウス=ギュンター・ノイマンが作曲した❹「星空のブルース」は、60年にベルト・ケンプフェルト楽団の演奏で大ヒットし、全米チャートで3週間連続第1位を記録。その後の曲はトランペット奏者の定番となりました。❺ナレーション「南ドイツの古都」をはきんで、1969年の映画『明日に向かって撃て!』（監督ジョージ・ロイ・ヒル、主演ポール・ニューマン、ロバート・レッドフォード、キャサリン・ロス）のテーマ曲が❻「雨にぬれても」です。ハル・デイヴィッド（詞）とバート・パカラック（曲）が作り、見事アカデミー主題歌賞を受賞。

音楽会のアンコールなどでよく聴かれる❼「トロイメライ」は、ドイツの作曲家ロベルト・シューマンが1838年に作曲したピアノ曲集「子供の情景」の第7曲です。シューマンの作品の中で最もポピュラーな名曲で、子供の夢の世界を見事に表現しています。ドイツの作曲家ハインリヒ・ウェルナーが1829年に作曲した歌❽「野ばら」は、「わらべは見たり、野なかのばら」の歌詞で親しまれていますが、歌

詞はドイツの文豪ゲーテの詩によっています。❾「青春の嵐」（2ページの解説をごらんください）に続いて、❿「ジス・ガイ」は、1968年にハーブ・アルパートで全米No.1ヒットとなった曲。ハル・デイヴィッド（詞）とバート・パカラック（曲）のゴールデン・コンビによる、輝きに満ちた傑作といえるでしょう。

⓫「子守歌」は、ポーランドの作曲家フレデリック・ショパンが1843年に作曲したピアノ曲をアレンジしたもので、原曲は16のヴァリエーションからできています。ショパンの作品の中でも最も優雅で繊細なもののひとつといえます。⓬ナレーション「スヘベニンゲン」の後は、1969年にアンディ・ウィリアムズが歌い、全米チャート22位を記録した文字通り「ハッピー」な曲⓭「ハッピー・ハート」。作曲家ジェームス・ラスト自身の演奏が聴けます。⓮「春の歌」は、ドイツの作曲家フェリックス・メンデルスゾーンが1829~45年に作曲したピアノ曲集「無言歌」のうちの1曲で、全48曲中で最も知られた曲です。⓯「ベル」は、フランスの文豪ヴィクトル・ユゴーの『ノートルダム・ド・パリ』を原作とした同名のミュージカルで歌われるナンバー。「ベル」とは美人、恋人のこと。1933年のミュージカル「ロバータ」のナンバー⓰「煙が目にしみる」は、オットー・ハーバック（詞）とジェローム・カーン（曲）が作ったバラードの傑作です。90年のJ.D.サウザーの映画『オールウェイズ』の主題歌にも使われるなど、何回もリバイバル・ヒットしています。⓱「夢幻飛行」は2ページの解説をごらんください。

## 南ドイツの古都

さる年のヨーロッパに虹とともに思い残した、夏があると思わないか。例えば、南ドイツの古都で雨。入り口に可憐な鈴をつけたカフェで、紅茶茶碗を掌に包み、指先を暖めていた夏もあった。少し曇った窓ガラスごしに黒々と濡れた石畳が見え、塗り替えて間もない砂糖菓子色の家並みが、見捨てられた絵本のように、青ざめていた。こんなことがあってはならない、と思いながらも、カフェの客は、私一人で、次の町へのバスを待つ間の時間、何をする気もなく座っていたのだ。白い前掛けが目にしみる女主人が、降り込められた旅人を、気の毒そうに、レジの傍で見ていた。あの時、パバリアの空の下、晴れやかな夏を一つ、私は、カフェの椅子に、残してきたと思っているのだ。

## スヘベニンゲン

ハーグの街から、市電に乗って行きつく海の、長い色敷石の遊歩道に、人影もまばらな頃のことだ。その年は、幾らか不十分な夏を過ごして立ち並ぶホテルも、カジノも、海に突き出た水族館つきの桟橋も、冴えない顔をしていた。遊歩道の下に砂浜に、映画のセットみたいに並んだ、天井なしのガラス囲いの海の家が、北海の風を隔てたデッキチェアに、浮かめ顔の海水浴客を集めていた頃、強風に波立つ海が、砂まじりに濁って、一握りの若者たちの胸板を洗い、無謀とも見えるヨットの帆を、沖の波間に見え隠れさせていたものだ。チーズ色をしたオランダ娘の肌が褐色に焼きあがる筈であったが、あだな願いの季節がめぐり、心残りの遊歩道には、乗る人もないメリーゴーラウンドが、打ち捨てられたように止まっていたのだった。



Germany  
Holland  
Belgium

Roundabout Trip  
旅の回り道

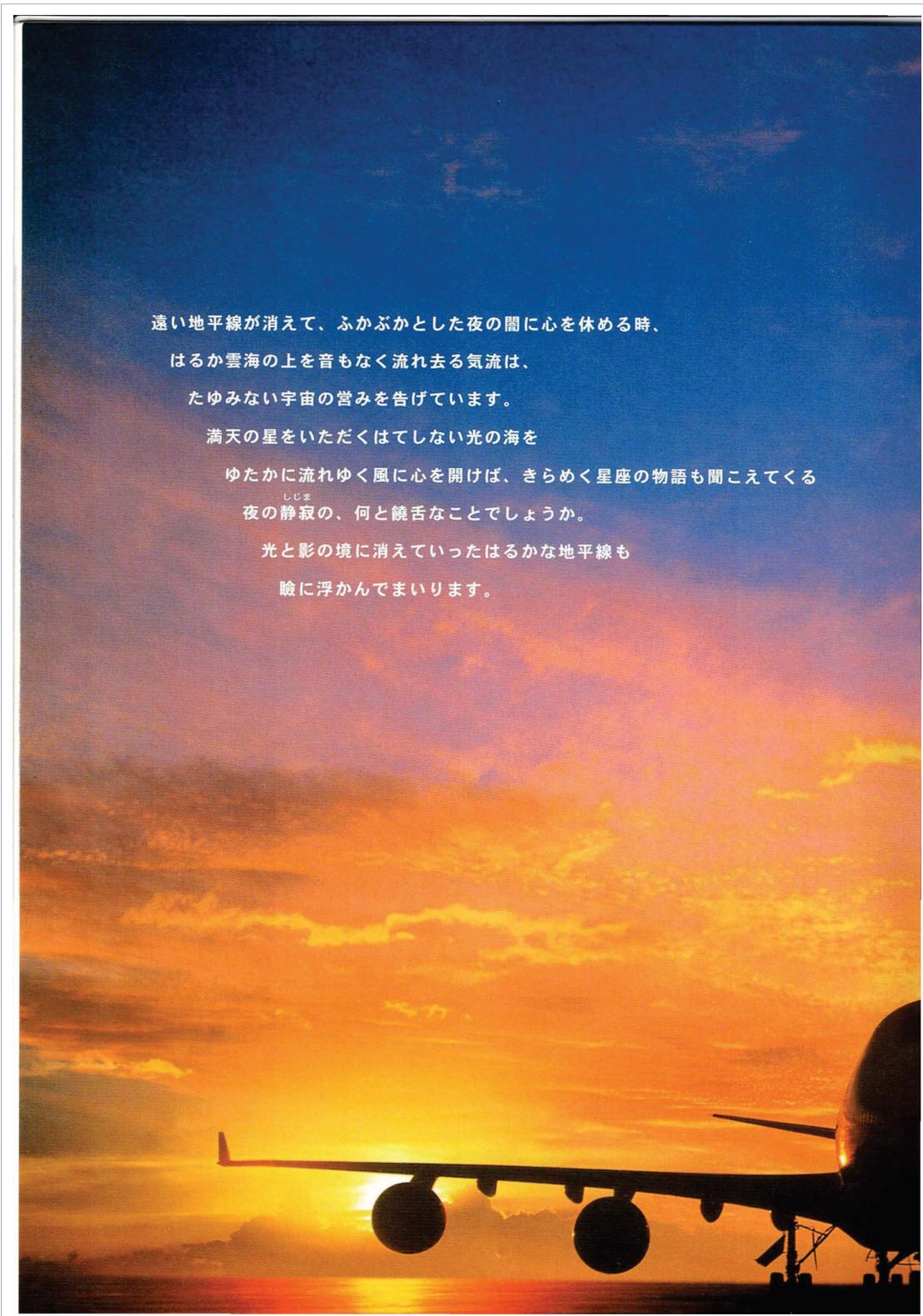
## コミカルなベルリン

夜はベルリンを美しく見せる。ビルの工事現場は闇に消え、街灯の中に1920年代の面影がよみがえってくる。オペラやコンサートもいいが、ベルリンならではの夜を過ごしたい人におすすめなのが、ヴァリエテ劇場。手品やさまざまな曲芸に、歌とダンスをテンポよく織り交ぜたバラエティ・ショーがたっぷり楽しめる。ヴァリエテは18世紀初めにフランスやイギリスで始まったもの。ロンドンでは子供時代のチャップリンも出演していたし、1900年のパリ万博で踊って大評判だった日本の芸者川上貞奴も、ドイツ各

地でヴァリエテのダンサーとして人気を博した。ベルリンのヴァリエテは1920年代に167もできて最盛期を迎え、一世を風靡した歌手ジョゼフィン・ペーカーや、女性スパイでダンサーのマタ・ハリが舞台で大活躍。かのマレーネ・ディートリヒもヴァリエテ劇場の踊り子出身で、映画『嘆きの天使』でそのお姿が拝める。

さて第二次大戦後、一時姿を消してしまっただけで、ベルリンの壁崩壊後に次々と新しくオープンしている。現在ベルリンで人気を二分するのが、「ヴァンター・ガルテン」と「カメレオン・ヴァリ

エテ」。1888年創設の老舗ヴァンター・ガルテンは1992年、クロイツベルクに新たな劇場を建て再スタートした。5000個の星がちりばめられた天井はまるで夢の中にいるようでゴージャス。いっぽうカメレオンはベルリンの若者たちの人気スポット、ハックシャー・ホーフという建物の中にある。美しい中庭に面し、劇場へ上る階段にも美しい装飾が施されている。どちらも国際色豊かなエンターテイナーが出演して、一流の芸を楽しむことができる。

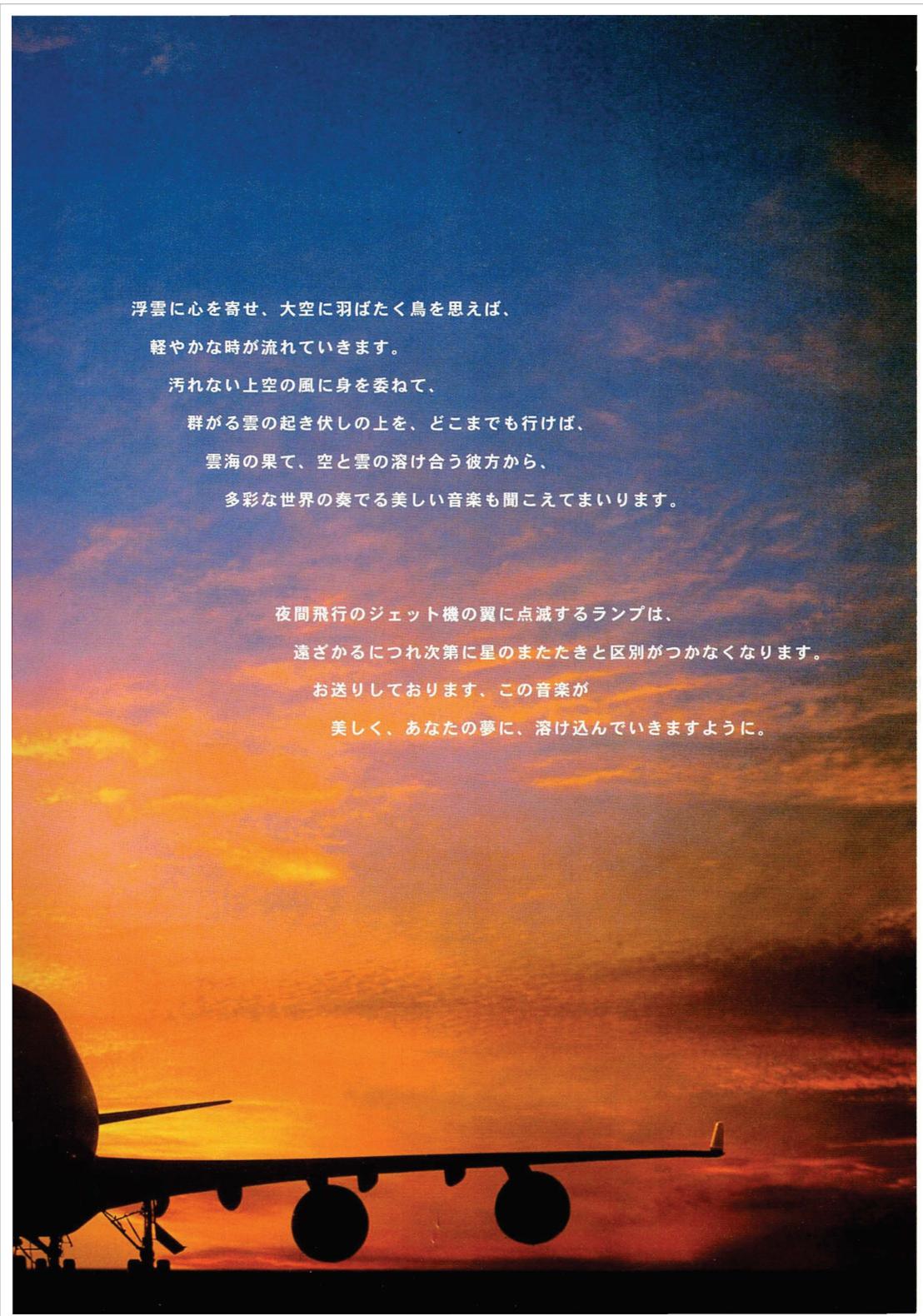


遠い地平線が消えて、ふかぶかとした夜の闇に心を休める時、  
はるか雲海の上を音もなく流れ去る気流は、  
たゆみない宇宙の営みを告げています。

満天の星をいただくはてしない光の海を

ゆたかに流れゆく風に心を開けば、きらめく星座の物語も聞こえてくる  
夜の静寂しじまの、何と饒舌なことでしょうか。

光と影の境に消えていったはらかな地平線も  
臉おもてに浮かんでまいります。



浮雲に心を寄せ、大空に羽ばたく鳥を思えば、  
軽やかな時が流れていきます。

汚れない上空の風に身を委ねて、

群がる雲の起き伏しの上を、どこまでも行けば、

雲海の果て、空と雲の溶け合う彼方から、

多彩な世界の奏でる美しい音楽も聞こえてまいります。

夜間飛行のジェット機の翼に点滅するランプは、

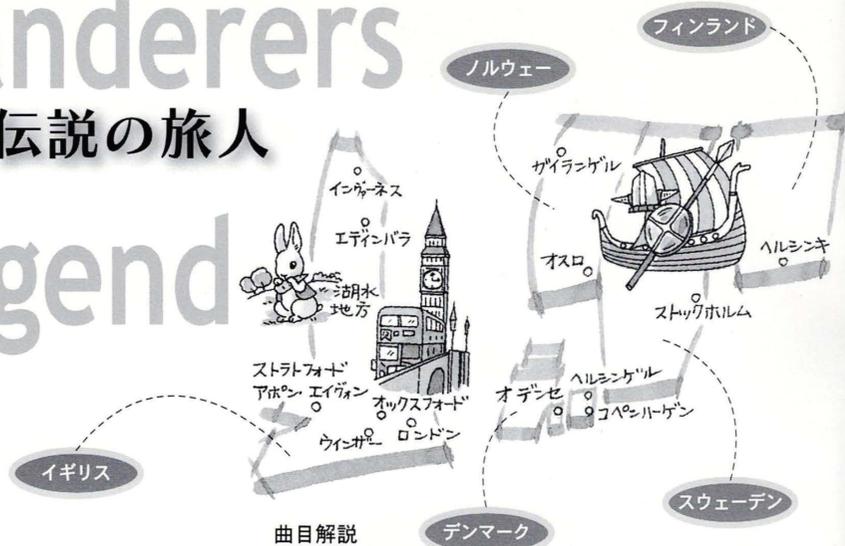
遠ざかるにつれ次第に星のまたたきと区別がつかなくなります。

お送りしております、この音楽が

美しく、あなたの夢に、溶け込んでいきますように。

# Wanderers for Legend

## 伝説の旅人



曲目解説

6

1 「ミスター・ロンリー」(2ページの解説をごらんください)に続くのは、ビートルズ・ナンバーで2 「ヘイ・ジュード」。1968年にジョン・レノン&ポール・マッカートニーが作詞作曲し、9週間連続全米No.1ヒットを記録しました。ジョンが息子のジュリアンに捧げた曲ともいわれます。3 「ライムライト」はイギリス出身の天才コメディアン、チャップリンが1952年に監督・主演した同名の映画(共演クレア・ブルーム)のテーマ曲で、チャップリン自身が作曲。アカデミー賞劇映画音楽賞(=作曲賞)に輝いたのは72年でした。1966年の映画『ダイヤモンド作戦』(監督ロナルド・ニーム、主演ジェームズ・ガーナー)の主題歌が4 「夜のストレンジャー」。作曲者のベルト・ケンプフェルトによる演奏です。フランク・シナトラの熱唱がグラミー賞最優秀男性歌手賞と最優秀レコード賞を獲得。5 ナレーション「バブ」の次は、6 「ベニー・レイン」。1967年にビートルズのジョン・レノン&ポール・マッカートニーが作詞作曲したナンバーで、発売前から100万枚を超える予約があったとか。

7 「庭の千草」は日本でもよく知られたアイルランド民謡です。もとは「ブラニーの森」という歌でしたが、アイルランドの詩人トマス・ムーアが「夏の名残のぼら」という詩を付けたものです。また日本で最も親しまれているスコットランド民謡は8 「アニー・ローリー」でしょう。スコットランドの女流作曲家ジョン・スコット夫人が作曲したもので、美しい貴族の娘アニー・ローリーに寄せる思いが盛り込まれています。9 「時は過ぎ行く」(4ページの

解説をごらんください)に続いて、10 「スター誕生 愛のテーマ」は1976年の映画『スター誕生』(監督フランク・ピアソン、主演バーブラ・ストライサンド)の主題歌です。ポール・ウィリアムズ(詞)とストライサンド(曲)が作り、アカデミー主題歌賞を受賞しました。同じく映画の音楽11 「ララのテーマ」は、ロシアの詩人・作家バステルナークの原作による1965年の映画『ドクトル・ジバゴ』(監督デヴィッド・リーン、主演オマー・シャリフ、ジェラルディン・チャップリン)のテーマ曲で、モーリス・ジャールが作曲して大ヒットしました。

1967年にジョージ・デヴィッド・ワイズ&ジョージ・ダグラスが作詞作曲した12 「この素晴らしい世界」は、ルイ・アームストロングのオリジナル歌唱でしたが、アメリカよりイギリスでヒットしました。13 「ラスト・ワルツ」は、1967年にイギリスのエンゲルベルト・フンパーディンクが歌って人気となった曲で、バリー・メイスン(詞)とレス・リード(曲)が作りました。14 「ある愛の詩」は1970年の同名の映画(監督アーサー・ヒラー、主演アリ・マックグロウ、ライオン・オニール)の大ブレイク主題曲。フランスのフランシス・レイが初めて手がけたアメリカ映画の音楽で、アカデミー作曲賞を受賞しました。クラシックの名曲15 「愛の夢」は、ハンガリーの作曲家フランツ・リストが作曲した同名の3曲の歌曲集を、1850年リスト自身がピアノ用に編曲したものの第3曲変イ長調です。甘いメロディーを持つため、多くのポピュラー音楽にアレンジされています。16 「夢幻飛行」は2ページの解説をごらんください。

バブ

日暮れには、バブの扉を押して、  
日常は、又一つ手馴れた夢を見る。  
さながら、自分の名を彫りつけた椅子の  
きしみ具合も身についた、  
暗いホール、片隅の安らぎ。  
はた又、肩触れ合う人いきれの中の安堵。  
喜びと同じくらいには悲しみについても語り、  
いずれ、知りつくした者同士が、  
互いに懺悔僧を真似  
兄弟のふりをして、一日を無事に終わらせる  
工夫ができていたのだ。  
明日になれば……。そして又、明日になれば、  
夢の目覚めの朝のように、記憶はうす墨色に霞み、  
窓の外の明るさだけが、  
目にしみるはずなのだから……。

### Roundabout Trip 旅の回り道

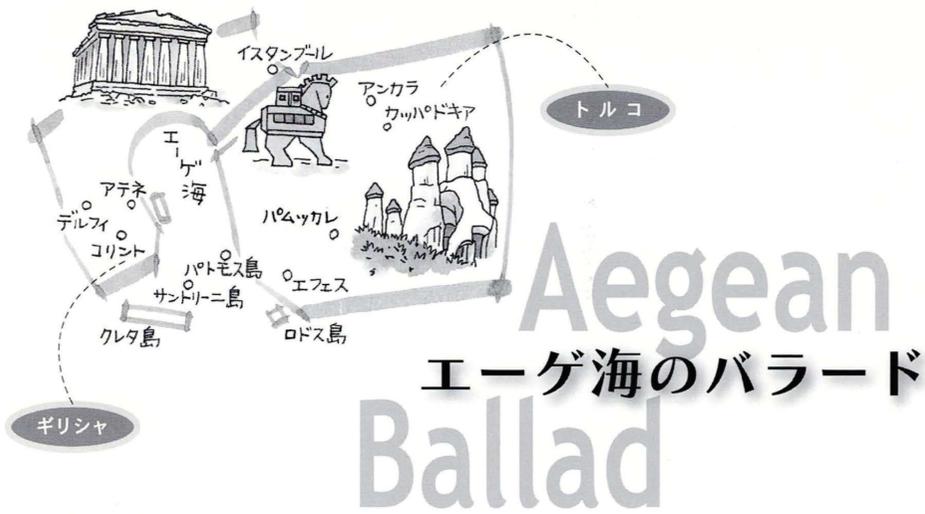
#### ロンドンの日本人

明治以来、ロンドンには日本から多くの文人たちが訪れている。夏目漱石は1900年10月から1902年12月までほぼ2年間滞在した。小柄だった漱石は、ヴィクトリア女王の葬列を見ようとハイド・パークまで行ったが人垣でなにも見えず、下宿の主人の肩に掛けてもらって、ようやく行列の胸から上だけ見ることができた、と日記に記している。古本屋めぐりも頻繁で、物価が高いために切りつめた留学費のうち、3分の1も本代にあて、滞在中に500冊も購入したという。異国の生活に疲れて神経衰弱になったときは、治療のため中古自転車を買ってロンドンの街を乗り回し、あげくに女学生たちの眼下で転んだこともあったらしい。

それから10年ほど後、歌人と謝野鉄幹を追ってヨーロッパにやってきた晶子は、西洋の女たちのファッションをつぶさに観察。イギリスの女性がかもさりしているのは、女子教育の普及で内面を重んじて化粧を怠っているのが原因と分析し、パリジェヌが美しいのは、自分に合った色やデザインを創意工夫しておしゃれをし、積極的に人生を楽しんでいるからだと学んだ。

漫画家岡本一平と作家岡本かの子の夫妻がロンドン郊外に住んだのは、さらに10年を経た1930年の1~11月のこと。かの子はヨーロッパ美食旅行をして「料理はそれぞれの国がもつ感覚のバロメーター」だとさとり、ロンドンは牛肉炭火焼のポテト添えが名物料理だと書いている。一方、同じ年にロンドン貧乏旅行をした林芙美子は「3週間も風呂に入らないことがあります」と嘆いた。人それぞれ、旅はその後の作品にどう影響したか、興味津々というところ。





曲目解説

7

❶「ミスター・ロンリー」（2ページの解説をごらんください）に続く❷「身も心も」は、1930年にジョニー・グリーン（曲）とエドワード・ヘイマンら3人（作詞）が作りました。最も美しいメロディーをもつバラードといわれる名曲です。❸「黒いオルフェ」は1959年の同名の映画（監督マルセル・カミュ）の主題歌として親しまれました。ボサ・ノヴァの大家ルイス・ボンファとアントニオ・カルロス・ジョビンの共作です。❹「真珠採り」は、「カルメン」で有名なフランスの作曲家ジョルジュ・ビゼーが1863年に作ったオペラ「真珠採り」の中のアリア「耳に残るは君の歌声」をタンゴにアレンジしたもので、1950年代に大ヒット。リカルド・サントス楽団の人気を確立しました。❺ナレーション「時間の迷路」をはさんで、曲名が「大好き」といった意味をもつ❻「アドロ」は、1967年にアルマンド・マンサネーロが作詞作曲。日本では1972～73年に放映されたTV連続ドラマ「光る海」のテーマに使われていたのをご記憶の方も多いでしょう。

❼「ブルー・レディに紅バラを」は、1948年にシド・テッパーとロイ・ブロドスキーが共作。1965年にここで聴けるベルト・ケンブフェルト楽団の演奏がミリオン・セラーとなりました。❽「日曜はダメよ」は、1960年のギリシャを舞台にした同名の映画（監督・主演ジュールス・ダッシン、共演メリナ・メルクーリ）の主題歌で、ギリシャの人気作曲家マノス・ハジダキスが作詞作曲。外国映画初のアカデミー主題歌賞を獲得しました。❾「青春の嵐」（2ページの解説をごらんください）に続いては、❿「シバの女王」。

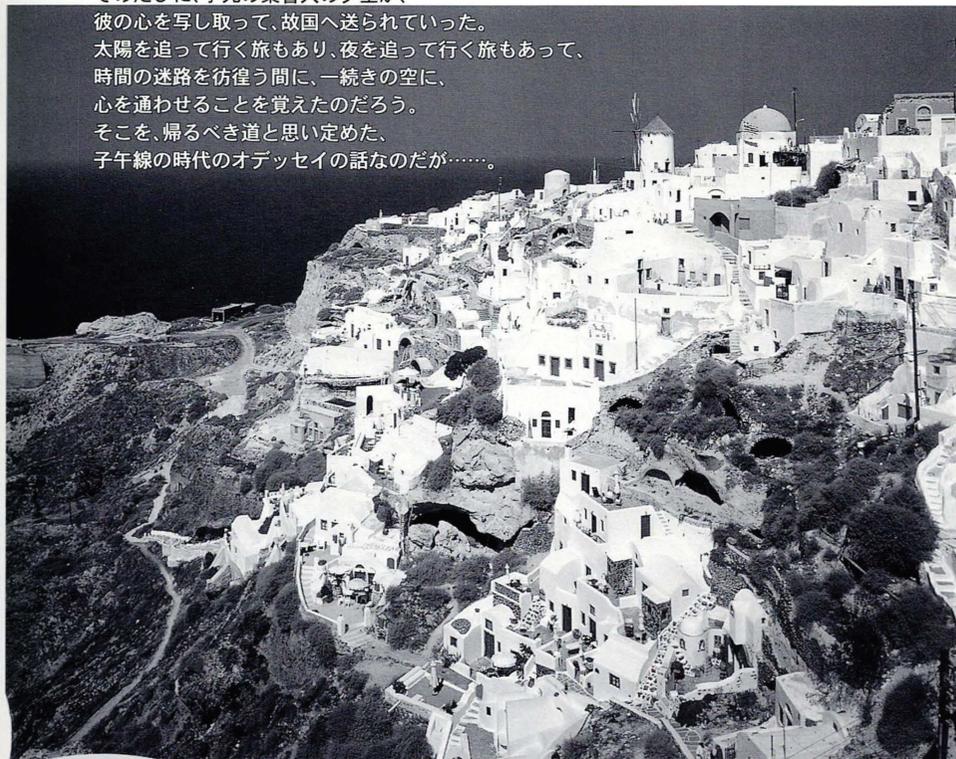
1967年に北アフリカ出身のシンガー=ソング・ライター、ミシェル・ローランが作詞作曲しました。シバの女王に自分の恋人をダブらせたラブ・ソングです。ここで聴かれる演奏でもおなじみのジェームス・ラストは、作曲家としても高い評価を得ていますが、その代表作のひとつ❶「サンタ・マリアの祈り」は、彼の曲の中でも美しさでは一番かもしれません。曲名は「聖母マリア」であり、またアメリカ大陸を発見したコロンブスが乗っていた船の名でもあります。

1960年にジャズ・ピアニストのポピー・スコットが作曲した❷「蜜の味」は、イギリスの戯曲『蜜の味』（シェラ・デラニー）がニューヨークで上演されたときに、その幕間音楽として作られたもの。❸「つばめ」は、ボサ・ノヴァの作曲家としてよく知られているアントニオ・カルロス・ジョビンが作曲しました。デヴィッド・ローズ得意のストリングスにギターをフィーチャーしたこまやかな演奏です。同じくデヴィッド・ローズの演奏による❹「フォーエヴァー・アンド・エヴァー」は、S.ヴラヴィアナとR.コンスタンティノスによって作られたヒット・ナンバーで、美しいストリングスでメロディーを流れるように歌っています。最後は映画からの音楽で、❺「魅惑のワルツ」。1957年の映画『月下がりの情事』（監督ビリー・ワイルダー、主演ゲアリー・クーバー、オードリー・ヘッパーン）の主題歌ですが、その原曲は1904年にイタリアのフェルモ・ダンテ・マルケッティが作った「ジプシーのワルツ」でした。❻「夢幻飛行」は2ページの解説をごらんください。

Greece  
Turkey

時間の迷路

旅人は、地球を何周もして、なお、旅先の渚で落日を見ている。夕空に航跡をのぼしている矢のような帰心があって、葉書に、「故国、6月の太陽の背は赤い」と書いた。旅に出てから、彼は、落日に、太陽の背姿を見るようになった。そのたびに、手元の葉書大の夕空が、彼の心を写し取って、故国へ送られていった。太陽を追って行く旅もあり、夜を追って行く旅もあって、時間の迷路を彷徨う間に、一続きの空に、心を通わせることを覚えたのだろう。そこを、帰るべき道と思い定めた。子午線の時代のオデッセイの話なのだが……。



Roundabout Trip  
旅の回り道

夏の夜のお楽しみ

ギリシャは4月から10月までほとんど雨が降らない。夏(6～9月)には30度を超える日もあるが、汗ばむひまもないほど空気が乾燥しているので気持ちがいい。軽く絞ったぬれ布巾も1時間後にはそのままの形でカチカチに干上がるほどだ。街ではいたるところで、テッポウとイスを屋外に持ち出して営業しているカフェニオン(カフェ)やタバerna(大衆食堂)に出会う。ギリシャ人は夏の夜の楽しみ方が上手だ。薄暗くなると、家族や友人たちと連れ立ってぶらぶら歩きを楽しむ、ポルタと呼ばれる散歩の習慣がある。夕涼みがたらず野外劇場で芝居を観るのも楽しみのひとつ。アテネでは地区ごとに公共の野外劇場があるが、このほかに夏の間だけ広場や公園に仮設されるものもある。上演されるものは、芝居、踊り、コンサートなど多種多様で、有名なグループによる質の高

い公演も見られる。チケットはほとんどが当日券のみだが、ギリシャの夏の夜を肌で感じ取れる素晴らしい時間が手に入る。

もうひとつ欠かせないのが「屋根のない映画館」だ。1960年代の初め、映画はギリシャでも最大の娯楽だったが、当時500～1200席収容できた野外映画館もテレビの普及とともに衰退し、その敷地はビルや駐車場になっていった。そこへ、80年代に文化大臣を務めた女優のメリナ・メルクーリ(映画『日曜はダメよ』でおなじみ)がこれにストップをかけた。おかげで野外映画館は生き残ることができ、90年代には、星空の下ロマンチックな環境も手伝って、とくに若者の人気スポットとして息を吹き返している。こうした映画館には、彼女を称えて「シネ・メリナ」と名付けたものが多い。



# Aloha! 思い出に、 アローハ! My Souvenir

曲目解説

8

❶「ミスター・ロンリー」（2ページの解説をごらんください）、❷ナレーション「ハワイへようこそ」に続いては、ハワイアンを代表するポピュラー・ナンバー❸「アロハ・オエ」です。1878年にハワイ王朝最後の王、リリウオカラニ女王が作りました。ハウゼの演奏に次いでポール・モーリアの演奏による❹「悲しみのサンバ」は、ミルティエニョ作詞作曲のサンバに1965年、アロルド・ロボが手を入れて66年にヒットした曲です。続いてボレロの名曲❺「パフィディア」。1939年にメキシコのマリンバ奏者アルベルト・ドミンゲス作で、曲名は「裏切り」の意味です。41年にミルトン・リーズが英詞を付け「今宵は」というラヴ・ソングにしました。❻ナレーション「島めぐり」をはさんで、❼「サマー・サンバ」はマルコス・ヴァレとパウロ・セルジオ・ヴァレの兄弟が1965年に作ったボサ・ノヴァ曲で、アメリカではノーマン・ギンベルが英詞を付けた「ソー・ナイス」としてヒットしました。

❽「ウィンチェスターの鐘」は、1966年にイギリスのニュー・ボードビル・バンドの演奏で全米No.1ヒットとなったもの。作曲はこのバンドを作った作曲家でレコード・プロデューサーのジェフ・スティーンズです。❾「空と太陽と海」は1965年にフランソワ・ドゲルトが作ったヒット作で、ポール・モーリアにはうってつけの名曲です。1967年に、カナダのシンガーソングライター、ジョニー・ミッチェルが作詞作曲した❿「青春の光と影」は、フォーク・ソング・ブームの中に咲いた大輪の名曲でしょう。69年に

は同名の映画（監督ホール・パートレット）も作られました。

⓫「時は過ぎ行く」（4ページの解説をごらんください）に続くは⓬「ジャワの夜は更けて」。ニューオーリンズ出身のトランペットの名手アル・ハートが、1964年に放ったヒット曲です。ハートはポップ・ジャズの分野で活躍し、あふれるばかりのサウンドを聴かせてくれました。

⓭「フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン」は1954年にパート・ハーワードが作詞作曲した「イン・アザー・ワース」というバラードが原曲です。62年にピアニストのジョー・ハーネルがボサ・ノヴァ調にアレンジしてたちまち人気となりました。❸ナレーション「フィージアン・ホテル」に続いては⓮「思い出のフィジー」。この曲は、ここで演奏しているスウィート・ピープルのリーダー、アラン・モリゾーとT.マニアスとが、1978年に作りました。おなじみダバダバのデュエットで大ヒットの❸「男と女」は、1966年の同名の映画（監督クロード・ルルーシュ、主演アヌーク・エーメ、ジャン＝ルイ・トランティニャン）のテーマ曲で、フランシス・レイが作曲。❸ナレーション「ブーゲンビリア」の後は、マントヴァーニ楽団のこれも十八番❸「魅惑の宵」です。1949年初演のミュージカル「南太平洋」のナンバーで、オスカー・ハマースタイン2世（詞）とリチャード・ロジャース（曲）の作。58年に映画化され（監督ジョシュア・ローガン、主演ロサノ・ブラッツィ、ミッチー・ゲイナー）、広く親しまれています。❸「夢幻飛行」は2ページの解説をごらんください。

ハワイへようこそ  
アローハ、真ん中をゴム紐のように引き伸ばして、波が駆けていく。  
アローハ、その抑揚に似せた波のうねり、  
フラの身振り、風にそよぐヤシの葉むら。  
秘密の扉の合言葉のように、  
その一言でハワイが見えてくる。  
匂いたつレイを首にかけて、  
今こそあなたと私の、アローハ。  
ハワイへようこそ。

## 島めぐり

ハワイの島影を数えて、渡り鳥のように飛び、  
一日を七重にも八重にも  
生きることができるのだという。  
或る島では、女性の立ち姿に似た山々が  
緑の山袂を折り重ね、  
日を浴びた肩に、レンガ色の地肌をにじませていた。  
又、或る島では、数百メートルの断壁が、  
幾筋もの滝をかけて、屏風のように海に落ち、  
蒼むす壁に、海鳥が群れて飛んでいた。  
遊覧飛行の窓の下を流れる景色を、巻き絵のようにつなぎ、  
島ごとに、花蔭の娘を置いて通り過ぎた一日であったが……。

## フィージアン・ホテル

一軒のリゾートホテルが  
熱帯の緑に包まれて、潮騒を聞いている。

人里を遠く離れ、訪れるものは、  
日に一度、二度のバスだけだから。  
滞在客は、珊瑚礁の夢を破られることがない。  
内海の、空色の水にカヌーを浮かべ  
釣り糸を垂れて日を送ったり  
外海の波をくぐって、珊瑚礁の岩棚を彷徨う間には、  
胸の中で、久しく眠っていたものが目覚め、  
暗闇に、血の色をにじませて、  
脈打ち始めるのではないか。  
夕暮れの渚では、ヤシガニが、  
黄色いハイビスカスを、巣穴に引き入れ、  
地中の暗がり、満開の花を抱いて眠ろうとする。  
まさに、滞在客の切なる願いも、  
花を抱いて眠ることに近いのであったが。

## ブーゲンビリア

気づけばブーゲンビリアの生け垣の側で、  
夕陽に頬を染めて日が暮れる。  
落日を追って小舟が沖を目指し、  
漁を終えたカヌーは岸へ急いでいる。  
鳥たちも森の奥へ戻っていくのだ。  
夕空の色が褪めて、黒い木立の間に揺れるトウチの火が赤くなる。  
あとには眩しい思い出が、森の奥で、  
夜目にも白い月下美人となって咲きだそう。  
それではもう一度、アローハ。  
あなたのハワイがいつまでも思い出に残りますように……。

## Roundabout Trip 旅の回り道

### 宇宙に いちばん近い島

青い海に白い砂浜、リゾート・アイランドとして有名なハワイだが、実は世界最高水準の天体望遠鏡がここに集中しているのをご存じだろうか？ ハワイ島マウナケア山（標高4205メートル）の山頂には現在、日本の「すばる」をはじめ、アメリカの「ケック望遠鏡」、イギリス・アメリカ数か国共同の「ジェミニ望遠鏡」など11か国、計12基もの望遠鏡が設置されている。とくに1998年にできた「すばる」は口径8.2メートルと、単一の反射鏡としては世界最大。ハッブル宇宙望遠鏡の3倍も細かな画像が得られるなど、最先端技術を駆使して惑星発見など宇宙観測に大活躍している。

ではなぜマウナケアに天文台が集まったのか？ それは40年ほど前にマウナケア山のふもとの町ヒロを襲った津波がきっかけだった。津波に壊された町の復興のため、ミット・アキヤマという日系2世が大学の天文関係者に誘致の手紙を送った。すると、当時のアメリカ天文学会を代表する学者ジェラルド・カイパー博士がこれに応じて調査し、「天体観測にとって、地球上でマウナケア山以上の場所はない」という結果を64年に出したのだ。ここでは快晴の夜が多く、大気安定して湿度も低く、夜空が暗い。さらに観測可能な日が1年のうちなんと300~330日もあり、観測に必要な条件をすべてクリアしていたわけだ。ただ高地のため高山病にかかりやすく、夜は夏でも気温が露下まで下がるので、人間には厳しい環境だ。標高2800メートル地点の「オニツカセンター」では、山頂までのガイド・ツアーもあり、素晴らしい眺望が得られる。





# Southern Cross

## 恋する南十字星

曲目解説

9

1 「ミスター・ロンリー」(2ページの解説をごらんください)に続いて、2 「夏の日恋」は1959年の映画『避暑地の出来事』(監督デルマー・デヴィス、主演トロイ・ドナヒュー、サンドラ・ディー)の主題曲で、マックス・スタイナーが作曲。全米No.1ヒットになりました。3 「サインはピース」は曲名の通り、「愛と平和」をアピールした歌です。1971年にジーン・マクレランが作り、カナダの5人組のグループ、オーシャンが歌って全米第2位となりました。4 ナレーション「北からの旅人」をはきんで、5 「シャレード」です。1963年にジョニー・マーサー(詞)とヘンリー・マンシーニ(曲)の作で、同名の映画(監督スタンリー・ドーネン、主演オードリー・ヘップバーン、ケリー・グラント)の主題曲です。6 「バイ・バイ・ブルース」は、1930年にパート・ロウ他4名が作曲。曲名は「憂鬱(ブルース)よ、さようなら」という意味で、当時の大不況や禁酒法の時代に強くアピールしました。

グレン・ミラー楽団による演奏で有名になった7 「イン・ザ・ムード」は、1938年に黒人サクソフ・プレイヤーで、編曲者としても著名なジョー・ガランドが作曲しました。8 「朝日のあたる家」は、1937年に民謡研究者のアラン・ロックスがケンタッキー州で採譜したトラディショナル。64年にイギリスのグループ、ジ・アニマルズがレコーディングして全米チャート1位を記録しました。9 ナレーション「グレートバリアリーフ」に続いて、トランペットでおなじみのロニー・ロッソのトレードマークとなった10 「夜空

のトランペット」。1965年に放たれた大ヒット曲で、ロッソ自身とグリエルモ・ブレッツァが作りました。原題は「静寂」です。11 「青春の嵐」(2ページの解説をごらんください)の次は、12 「青い影」で、1966年にイギリスのロック・グループ、プロコル・ハルムが放ったデビュー・ヒット曲です。パッハのカンタータ第140番「目覚めよと呼ぶ声が聞こえ」に触発されて書いた曲といわれています。ごぞんじ13 「トゥナイト」は、1957年初演のミュージカル「ウェスト・サイド物語」のナンバー。トニーとマリアの愛のデュエット曲ですね。ステイヴン・ソンドハイム(詞)とレナード・バーンスタイン(曲)が作り、61年には映画化されて、舞台、映画ともに記録的なヒットになりました。

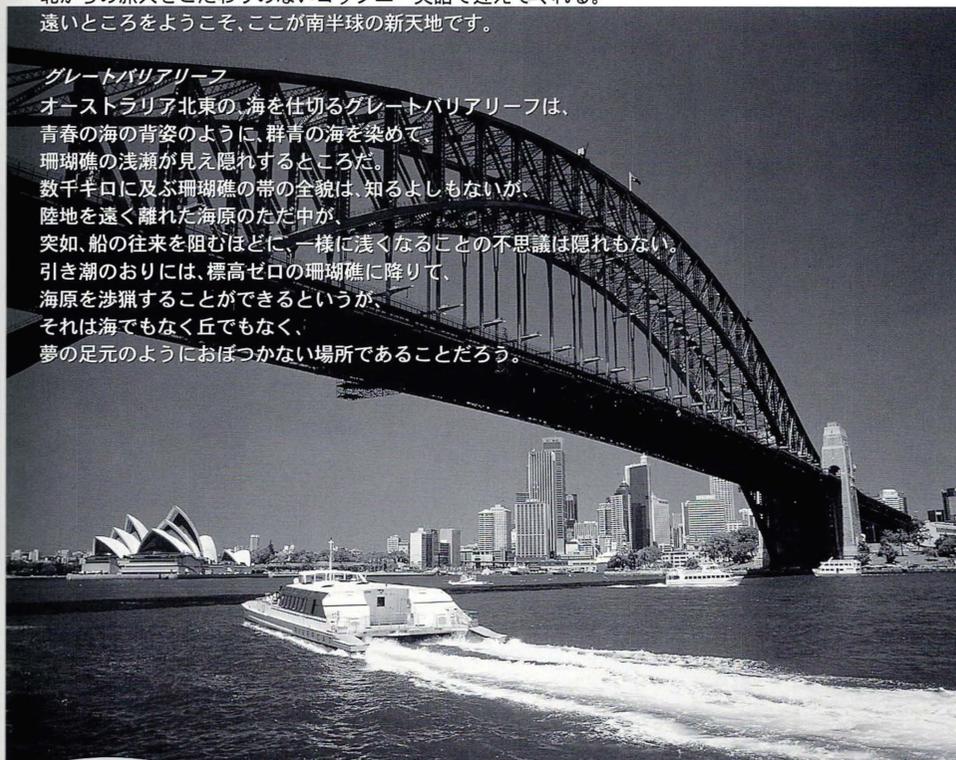
14 「メルシー・シェリー」の作曲者はウド・ユルゲンス。ベドロ&カプリシヤスの「別れの朝」を作曲したことで有名です。作詞はホルヒガー。フランスでは名シャンソン歌手ティノ・ロッシが歌いました。バラードのスタンダードとしてよく知られた15 「スターダスト」は、1927年にピアニストのホーギー・カーマイケルが作曲しました。2年後にミシェル・バリッシュが英詞を付け、ナット・キング・コールの名唱が生まれたわけですが、16 「誰かが誰かを恋してる」は1948年にアーヴィング・テイラー(詞)とケン・レーン(曲)が作り、シナトラも歌っていましたが、64年にディーン・マーチンの歌で全米No.1ヒット。17 「夢幻飛行」は2ページの解説をごらんください。

### 北からの旅人

南へ一直線に赤道を超えたところに、4月に収穫の秋を迎え、10月に春の花咲く国がある。ユーカリの森と、レンガ色の大平原を切り開き、無尽蔵の富と一緒に、虹色の明日を手に入れた自信が、胸を張っている。人々はここで、北向きの明るい家に住み、北からの旅人をこだわりのないコックニー英語で迎えてくれる。遠いところをようこそ、ここが南半球の新天地です。

### グレートバリアリーフ

オーストラリア北東の、海を仕切るグレートバリアリーフは、青春の海の背姿のように、群青の海を染めて、珊瑚礁の浅瀬が見え隠れするところだ。数千キロに及ぶ珊瑚礁の帯の全貌は、知るよしもないが、陸地を遠く離れた海原のただ中が、突如、船の往来を阻むほどに、一様に浅くなることの不思議は隠れもない。引き潮のおりには、標高ゼロの珊瑚礁に降りて、海原を涉猟することができるというが、それは海でもなく丘でもなく、夢の足元のようにおぼつかない場所であることだろう。



### Roundabout Trip 旅の回り道

### 元気な アボリジニ カルチャー

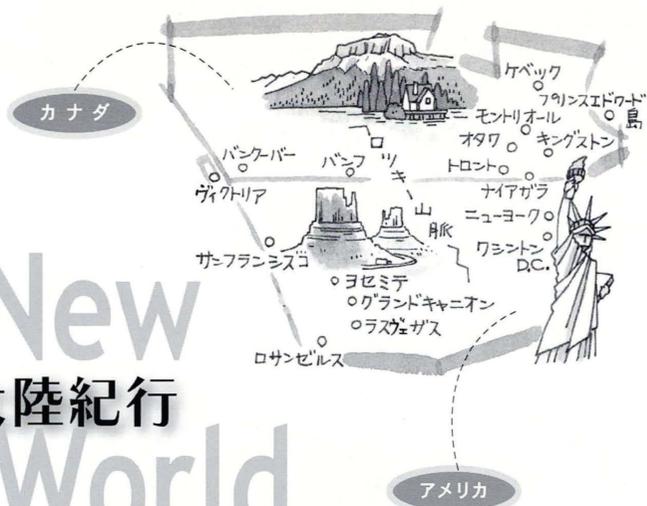
日本ではあまり知られていないが、オーストラリアには「アークブラ・ハット」という世界的に有名な帽子がある。ゴルフのグレッグ・ノーマン、映画『クロコダイル・ダンディ』のポール・ホーガンがかぶっていたテンガロン・ハットに似た帽子がそれ。この「アークブラ」とはアボリジニ(オーストラリアの原住民)の言葉で「頭にかぶるもの」を意味するが、オーストラリアにはこのアボリジニの言葉に起源をもつものが多い。カンガルー、コアラ、ワラビーといった動物名のほか、首都「キャンベラ」(会合の場所)やサーファーズのメッカ「ボンダイ」(砕け散る波の音)・ビーチなどの地名もアボリジニの言葉だ。

伝統的な狩猟や採集生活で培われたアボリジニの食文化も、健康ブームの影響で見直されている。

カンガルー、ワニ、エミュー(ダチョウの一種)といった低脂肪で栄養価の高い肉類や、オレンジ12個分のビタミンCを含むベリーゴート・プラムという果物などが人気で、ウィッチェッティ・クラブ(大型の芋虫)を食べる剛の者もいる。音楽では、1986年に「ヨス・インディ」というロック・バンドがデビューし、アボリジニの伝統楽器「ディジェリドゥー」(木管楽器)と電子楽器を組み合わせた独自のサウンドを開拓。92年に国連の「世界先住民国際年」に招待され、欧米や日本でもツアーを行うなど世界的に活躍している。動物や天地創造の神話を題材にした絵画や工芸品もよく知られており、地元カンタス航空では、極彩色のアボリジナル・アートが描かれた飛行機もお目見えた。

Australia  
New Zealand

# The New 新大陸紀行 World



目録解説

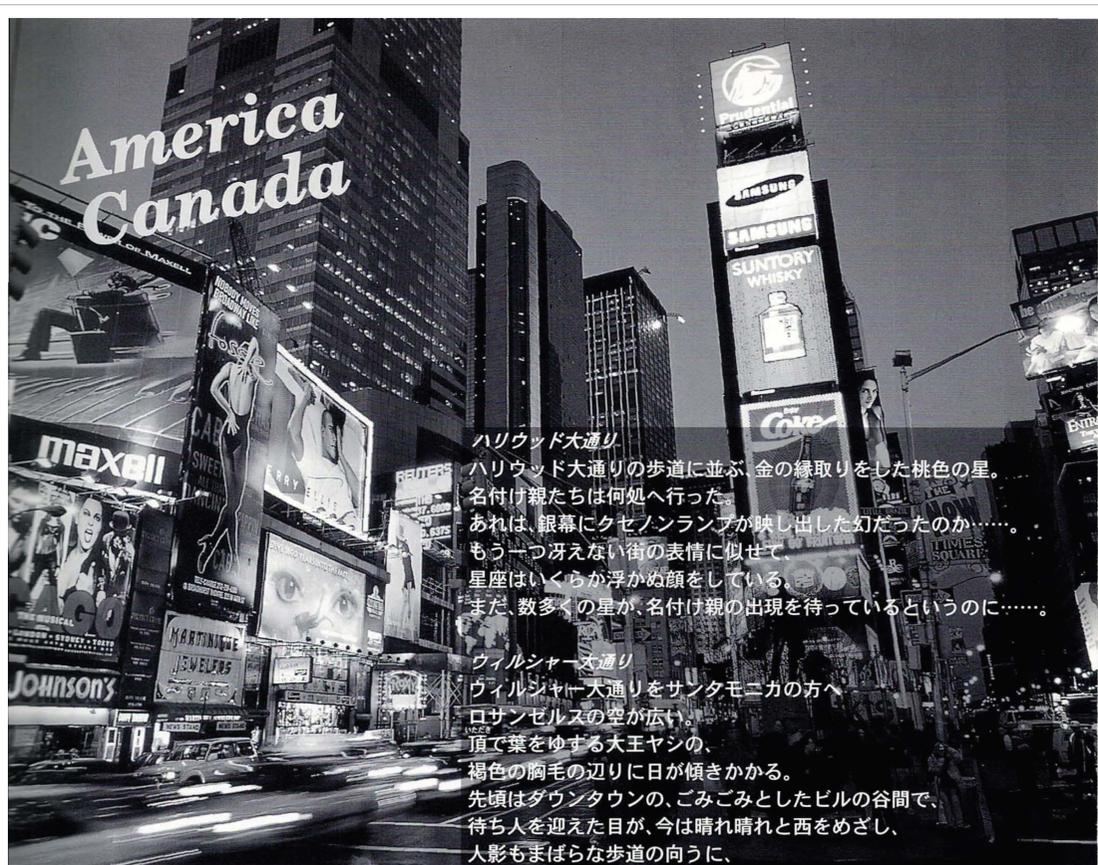
10

11「ミスター・ロンリー」（2ページの解説をごらんください）に続いては、1955年の映画『アンチェインド』（監督ホール・パートレット）の主題歌 12「アンチェインド・メロディ」です。ハイ・ザレット（詞）とアレックス・ノース（曲）が作り、90年には映画『ゴースト』の主題歌にもなって親しまれました。やはり映画の主題歌として人気の曲が、13「ムーン・リヴァー」。1961年の映画『ティファニーで朝食を』（監督ブレイク・エドワーズ、主演オーディリー・ヘップバーン）で、ジョニー・マーサー（詞）とヘンリー・マンシーニ（曲）が作り、アカデミー主題歌賞を獲得しました。1953年にダグラス・クロス（詞）とジョージ・C.コリー（曲）が作った 14「想い出のサンフランシスコ」は、サンフランシスコへの望郷の念あふれる歌で、69年にはサンフランシスコ市の市歌になりました。15「イン・ザ・ミッドナイト・アワーズ」は1965年にアラバマ生まれのソウル・シンガー、ウィルソン・ピケットが作ったヒット曲。16「アンチェイン・マイ・ハート」は、ジョージア州生まれの盲目の黒人歌手レイ・チャールズが、1961年にヒットさせた曲で、彼の代表作となっています。

17ナレーション「ハリウッド大通り」の次は、18「ラヴ・ミー・テンダー」。1956年の映画『やさしく愛して』（監督ロバート・D.ウェッブ、主演エルヴィス・プレスリー）の主題歌で、もちろんエルヴィスが歌い、人気を決定的なものにしました。19ナレーション「ウィルシャー大通り」に続いて、20「男が女を愛する時」は1966年にソウル・シン

ガーのパーシー・スレッジが作った曲で、『プラトーン』『クライン・ゲーム』をはじめズバリ同名の映画、そして日本ではコスモ石油のCMなど、映画やCMに人気のバラードです。21「時は過ぎ行く」（4ページの解説をごらんください）をはさんで、22「80日間世界一周」は、1956年の同名の映画（監督マイケル・アンダーソン、主演デヴィッド・ニーヴン）の主題曲で、アカデミー劇映画音楽賞（＝作曲賞）を獲得。作曲者ヴィクター・ヤングの遺作となりました。

23「愛のオルゴール」は、1973年にカナダのピアニスト、フランク・ミルズが作曲し、79年になって突然全米チャートの3位に登場。高田みづえが「潮騒のメロディ」として歌った“歌謡曲”版もありましたね。次は24「エデンの東」。1955年の同名の映画（監督エリア・カザン、主演ジェームス・ディーン）の主題曲で、レナード・ローゼンマンが作曲。日本ではジェームス・ディーン人気とともに大ヒットしました。同じく映画音楽の 25「愛情物語」は、1955年の同名の映画（監督ジョージ・シドニー、主演タイロン・パワー、キム・ノヴァック）の主題曲ですが、原曲はポーランドの作曲家フレデリック・ショパンの「夜想曲第2番変ホ長調」作品9の2です。この映画で陰のピアノを弾いたカーメン・キャパレロが一躍人気を得ました。26「カナダの夕陽」は1956年にノーマン・ギンベル（詞）とエディ・ヘイウッド（曲）が作りました。冬のカナダで生まれたロマンスを描いた曲ですね。27「夢幻飛行」は2ページの解説をごらんください。



## ハリウッド大通り

ハリウッド大通りの歩道に並ぶ、金の縁取りをした桃色の星。名付け親たちは何処へ行った。あれは、銀幕にクセレンランプが映し出した幻だったのか……。もう一つ芽えない街の表情に似せて。星座はいくら浮かぬ顔をしている。まだ、数多くの星が、名付け親の出現を待っているというのに……。

## ウィルシャー大通り

ウィルシャー大通りをサンタモニカの方へ。ロサンゼルス<sup>ロサンゼルス</sup>の空が広い。頂で葉をゆする大王ヤシの、褐色の胸毛の辺りに日が傾きかかる。先頃はダウンタウンの、ごみごみとしたビルの谷間で、待ち人を迎えた目が、今は晴れ晴れと西をめざし、人影もまばらな歩道の向うに、ゆったりと立ち並ぶビルの群れに恍惚としている。ウィンドシールドの青色が、横長の景色の空を染めて、富のもたらす心地良さは、人工着色のほどよい絵そら事になっている。その贅沢な芝の緑を、皮めくれば、<sup>ひょうたん</sup> 渺々たる砂漠がひろがっていることは疑いもないのに……。

## Roundabout Trip 旅の回り道

### ニューヨーク セレブのお気に入り

セレブの住む高級住宅地といえば、セントラル・パーク周辺のアッパー・サイド。なかでも、ジョン・レノンやバーンスタインらが住んでいた「ダコタ・アパート」が有名だ。近くに「カフェ・ラ・フォルトゥナ」というジョンとヨーコお気に入りの老舗カフェがあり、エスプレッソにジェラートを浮かべたアイス・カプチーノが自慢。ロバート・デ・ニロ行きつけの店は、アメリカン・キュービズムの「ザ・ハリソン」（グリニッチ通り）で、スーパー・モデルのクリスティ・ターリントンやハーヴェイ・カイテルも顧客という人気レストランだ。ラファイエット通りにあるパブリック・シアター内の「ジョーズ・パブ」は、ヴァラエティに富んだショーとDJの選曲が好評のレストラン・バー。レオナルド・ディカプリオも訪れてい

るので、運がよければ……！

一方マドンナ、ジャネット・ジャクソン、ローリン・ヒルら歌姫たちのお気に入りには「クリスチャン・ループテン」（マディソン街）のエレガントな靴。トレード・マークの赤い靴底に合わせた真紅の内装がおしゃれな店だ。人とは違ったものをとこのごだわりのあなたは、セレクト・ショップの「セヴン」（オーチャード通り）へどうぞ。限定品や1点物中心の品揃えて、しかもアヴァンギャルドな服は、個性派アーティストのビョークも大ファンとか。NYトレンドをさらに究めたいなら、一流ヘア・サロンも試してみたいかが？ ミック・ジャガーも通っているという「ウォレン&トリコミ」（五〜六番街）なら、最先端のスタイリッシュな髪型になることうけあい。

別冊解説書

# JET STREAM FANTASY OF MEMORIES



発売

 株式会社エイベックス・ディストリビューション /  avex club

〒107-0062 東京都港区南青山3-1-30 住友生命青山ビル

制作

ユニバーサル ミュージック株式会社

〒107-8583 東京都港区赤坂8-5-30

協力

日本航空 / TOKYO FM

編集・デザイン

ラグタイム

印刷・製本

大日本印刷株式会社